

- 1 日時 平成 13 年 2 月 7 日 (水) 第 4 校時 (1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 2 0)
- 2 学年 第 1 学年 A 組 (女子 7 名, 男子 3 名, 計 10 名)
- 3 題材名 We are 『ASIAN』 日本の音楽・アジアの音楽
- 4 題材設定の理由

(教材観)

平成 14 年度から実施される新教育課程において、音楽科も各教科同様、授業時数の削減や教育内容の精選などの変更点が見られる。削減された授業時数の中で、生徒に必要とされる基礎・基本をどのように身に付けさせればよいのか。また、我が国の伝統的な音楽のよさに気付き、尊重しようとする態度を育てるにはどのような教材を取り上げればよいのか、という 2 点を考え、この主題を設定した。

音楽の授業において世界の素晴らしい《芸術音楽》や、民族の心をうたいあげた《民族音楽》に親しみ、それぞれのよさを見付けていく活動は、これからの国際社会を生き抜く生徒に必要な力を育成することができると思う。これからの時代、アジア諸国とは今まで以上に交流する機会が増えるであろう。我が国やアジア諸国の文化や伝統、先人から受け継いだ独特のリズム・調子等、音楽の中には様々な歴史が詰まっている。本題材を通して、アジアの文化・伝統の持つ素晴らしさに気付き、それぞれのよさを認める力を身に付けさせたい。

(生徒観)

本学級の生徒は、男女を問わず音楽活動に対して比較的熱心に取り組む。行事等に対しても団結してがんばる、といった前向きな雰囲気を持っている。集団としては大変まとまりのある学級であるが、個の活動になると周囲の目を気にしたり、目立つことに不安を感じるなど人前で自分の気持ちを表現することを苦手とする生徒も少なくない。

このような生徒に対して、日頃から『一生懸命が一番素晴らしい』という教師の思いを伝え続けている。集団に対しては、間違いを笑わない雰囲気、仲間をまるごと受け入れることができる力の育成に努めている。また個に対しては、間違いを恐がらず、自分の意見を人の前で述べる力ができる力を養わせたいと考える。

(指導観)

諸外国の音楽のよさや素晴らしさを見付けるといった異文化理解力や多面的な見方、考え方を身に付けることはこれからの国際社会を生き抜く生徒にとって必要であろう。しかしながら、我が国の音楽の特徴・よさ、その素晴らしさを理解しなければ、諸外国の音楽の特徴やよさを感じる心が育つとは言えないと考える。よって、今回の主題では日本音楽を中心に据えている。

日本やアジア諸国の音楽に関する様々な個人的・集団的音楽活動を通して、生徒に【音楽を使って日々の生活を豊かにする力】、【生涯にわたって音楽に親しめる態度】【我が国・諸外国の文化と伝統を人類共通の遺産として尊重・継承していく態度】を育成したい。

今回の主題では、1 学年の教材だけでなく、2・3 学年で学習する教材も取り上げた。共通歌唱・鑑賞教材がなくなる新教育課程において、生徒に力を付けさせるためにはどのような教材が必要なのかを考えながら教材選択した。しかしながら、これで十分と言うわけではない。今後も『これだけは！』という教材を探し求め、蓄積していきたい。

5 題材のねらい

【音楽への関心・意欲・態度】

- ・我が国日本の文化や伝統を尊重・継承していこうとする意識を持つとともに、諸外国のそれらも人類共通の遺産（宝物）として尊重・継承していこうとすることができる。

【音楽的な感受や表現の工夫】

- ・日本民謡の声色や伝統楽器の音色の独特な情緒や雰囲気を感じ取り、そのよさ・素晴らしさを味わうことができる。
- ・日本と諸外国の音楽を比較し、共通点や相違点、またそれぞれのよさに気付くことができる。

【表現】

- ・歌声や発音を工夫しながら、それぞれの音楽にふさわしい表現をすることができる。
- ・日本を代表する歌の、しみじみとした詩情を感じ取り、曲想を味わいながら曲にふさわしい表現をすることができる。

【鑑賞】

- ・日本の伝統楽器の音色や奏法による独特な表現を感じ取ることができる。
- ・日本音楽の味わいや表現の豊かさを感じ取ることができる。

6 指導計画

【声の響き】

第1次	『私達の歌』	...	1時間
第2次	『ASIA 声のぶらり旅』	～日本～	...4時間
第3次	『ASIA 声のぶらり旅』	～韓国・インドネシア・モンゴル～	...（本時3 / 3）3時間

【楽器の響き】

第1次	『私達の楽器』	...	1時間
第2次	『ASIA 楽器のぶらり旅』	...	7時間

詳細は別紙(1)を参照

7 本時のねらい

【音楽への関心・意欲・態度】

- ・アジア諸国の民族音楽のよさを認め合うことができる。
- ・民族音楽『ケチャ』（インドネシア）に興味・関心を持ち、親しめる。

【音楽的な感受や表現の工夫】

- ・民族音楽（インドネシア）の雰囲気を感じ取り、そのよさ・素晴らしさを味わうことができる。

【表現の技能】

- ・曲やパートに応じた発声により、ふさわしい表現を工夫することができる。

8 本時の教材

- ・ 民族音楽『ケチャ』（インドネシア）

9 指導過程

時間	学習内容	活動内容	指導上の留意点 評価
15分	挨拶 ビデオレター ウォーミングアップ 交換曲の歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶する ・他学年が思いきり歌っている姿から学ぶ ・音楽に合わせて、おもいきり動き、体を温める。 ・小中両校で取り組んでいる「Believe」を歌う 	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩と授業のけじめをつけさせる ・他学年の良いところを吸収し、学習集団としてさらに高めあうことができる ・体が温まると声が出やすい状態になることを伝え、一人一人積極的に動くことができるようはたらきかける ・気持ちを込めて、のびのび歌えるような言葉かけをする ・評価 B
5分	本時の学習内容の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 《今日のめあて》 ・日本平成版『ケチャ』を完成させよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの内容を確認するとともに、本時の内容について理解する ・本時のねらいを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返らせる ・評価 A A ・本時の学習活動に対して意欲を持たせるようにはたらきかける 《ワークシート》
5分	「野菜の気持ち」 (パート練習)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返り、各パートで協力し合って練習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の最後に決めた目標を確認させる ・曲やパートに応じた声の出し方ができるような言葉かけをする ・評価 C
20分	「野菜の気持ち」 (全体練習)	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の気持ちを合わせて曲を仕上げる ・『ケチャ』の雰囲気を感じ取り、声の出し方を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「間違えながら勉強するんだ」ということを伝え、おもいきり活動できるようにする ・余裕が出てきたら、他のパートとの掛け合いを楽しませる ・各パートの特徴をつかんだ声の出し方を工夫させる ・評価 C D
5分	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動について、一人一人振りかえり自己評価する ・次時の学習内容を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己評価の後、教師から本時の活動に対して評価する ・次時の学習内容を知らせることで、これからの学習に見通しを持たせる ・次時の学習に対して意欲が湧くようなことばかけをする 《ワークシート》 ・評価 A

10 題材の評価

【音楽への関心・意欲・態度】

- A 我が国の音楽及び諸外国の民族音楽に興味・関心を持ち、親しむことができたか。(関心)
- B 様々な音楽活動に対し、主体的・意欲的に取り組むことができたか。(意欲)
- C 友達のよさを認め合うと共に、グループ・クラスで協力し合いながら学習できたか。(態度)
- D 我が国日本の文化や伝統を尊重・継承していこうとする意識を持つとともに、諸外国のそれらを人類共通の遺産として尊重・継承していこうとする態度が身に付いたか。(態度)

【音楽的な感受や表現の工夫】

- A 日本及び諸外国の音楽・伝統楽器の独特な情緒や雰囲気を感じ取り、そのよさ・素晴らしさを味わうことができたか。(音楽的な感受)
- B 自由な発想による即興的な表現をすることができたか。(表現の工夫)

【表現の技能】

- A 歌声や発音を工夫して日本語の美しい響きを生かして歌うことができたか。(歌唱)
- B 日本を代表する歌の、しみじみとした詩情を感じ取りながら歌うことができたか。(歌唱)
- C 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うことができたか。(歌唱)
- D 各パートや全体の響きに気を付けた合奏をすることができたか。(歌唱・器楽)

【鑑賞の能力】

- A 我が国の音楽及び諸外国の民族音楽の独特な表現(特徴)を感じ取ることができたか。
- B 民族音楽の味わいや表現の豊かさを感じ取ることができたか。
- C 音楽とその他の芸術とのかかわりを総合的にとらえて聴くことができたか。

別紙(1)
指導計画

次	題材	学習内容	活動内容	指導上の留意点・評価
1	『歌』の起源	私達の『歌』 昔の人の『歌』 『歌』が歌われる理由	『歌』ってどうして歌うの？	<ul style="list-style-type: none"> 『歌』が生まれた背景を考えるとともに、民謡についての理解を深める 『歌』に興味・関心を持つことができる 我が国の民謡の独特な情緒や雰囲気を感じ取ることができる 歌声や発音を工夫して日本語の美しい響きを生かして歌うことができる
2	ソーラン節	日本民謡 発声法	『ASIA 声のぶらり旅』に出発！ 日本民謡を歌おう！ 民謡の声をまねできるかな？	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に民謡の基本的な声の出し方を教わり、実際に歌ってみる 「ソーラン節」を中心に、何曲かの日本民謡を歌う活動を通して日本民謡に親しむ 日本音楽に興味・関心を持ち、親しめる 日本音楽の持つ独特の調子を感じ取る 民謡発祥のゆえんを考えるとともに、一つ一つの民謡の持つ背景を感じ取り、表現を工夫する 民謡の特徴ある声の響きを感じ取ることができる
	総合芸術《舞踊と音楽》	日舞 沖美音頭	めざせ！日本の踊りの達人	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に日舞の基本的な動作を教わり、実際に動いてみる 日本の踊りに興味・関心を持ち、親しめる 日本の踊りの独特な情緒や雰囲気、「間」を感じ取ることができる 音楽に合わせ、全身を使ってそれにふさわしい動きをすることができる 音楽が舞踊にもたらす働きを感じ取ることができる
	平成版民謡	編曲による 曲想の違い	民謡ダンスで日本の音楽を体感しよう！	<ul style="list-style-type: none"> 民謡をロック調に編曲したものにあわせて、おもいきり体を動かす 進んで音楽活動に参加できる 自由な発想による即興的な表現や、日本音楽にあう動きを工夫することができる 従来の民謡とロック調にしたもの、それぞれのよさを感じ取ることができる
	「赤とんぼ」	日本の代表歌	『ASIA 声のぶらり旅』をまとめよう！ ふさわしい声で歌おう！	<ul style="list-style-type: none"> 我が国及び諸外国の民族音楽の特徴やよさを認め合う 学習した発声法や知識を生かして、歌詞や曲想を感じ取り、ふさわしい表現をする 諸外国の民族音楽の特徴を感じ取ることができる 日本の代表的な歌に興味・関心を持ち親しめる 曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うことができる しみじみとした詩情や曲想を味わい、曲にふさわしい表現をすることができる

3	【『ASIA声のぶらり旅』〈諸外国〉】	「ケチャ」「ホーミー」	民族音楽	<p>なんだ！すごいぞ！この声は！ ～声の館めぐり～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの民族音楽（声楽）を聴きくらべ、それぞれの特徴やよさを感じ取る アジアの民族音楽（声）に興味・関心を持ち、親しめる アジアの民族音楽の美しさやよさを感じ取ることができる 諸外国の民族音楽の特徴を感じ取ることができる
			民族音楽の分析 発声法	<p>できるかもよ？『ホーミー』 日本平成版『ケチャ』！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホーミー」「ケチャ」に挑戦し、それぞれの難しさやおもしろさを感じ取る アジアの民族音楽に興味・関心を持ち親しめる 民族音楽の独特な表現を感じ取ることができる 簡単な「ケチャ」に挑戦し、友達と協力しながら各パートのリズムを打つことができる 民謡の特徴ある声の響きを感じ取ることができる
1	【私達の楽器】	楽器	『楽器』が誕生した理由	<p>一番好きな楽器は何？ 楽器の誕生秘話！ 身近にあるものを楽器にして演奏しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の周囲にある楽器に目を向けさせることによって、これからの楽器の学習につなげる 楽器に興味・関心を持ち、親しめる 合奏で自由な発想による即興的な表現をすることができる 自分のパートや全体の響きに気を付けて合奏することができる
2	【『アジア楽器のぶらり旅』】	「越天楽」 (小学校6年生と合同授業)	日本の伝統的な音楽	<p>この曲、どこかで聴いたことないかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽を視聴するといった学習活動を通して、理解を深めることができる 日本の伝統音楽に興味・関心を持ち、親しめる 楽器の音色や奏法(管楽器の微小な音程を伴うポルタメント奏法)による表現と合奏の仕方の特徴を感じ取ることができる 日本の伝統音楽である雅楽の優雅な気分を味わわせる
			音を出す原理 (理科と合科)	<p>ストローと瓶(缶)で『雅楽』の音が出せる！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲にあるものを使って楽器を作り、音の原理を理解することができる 楽器に興味・関心を持ち、親しめる 楽器の種類によって、音を出す原理が違う事を楽器創作によって理解することができる 創作楽器を使って、自由な発想による表現をすることができる
			「安来節」等	三味線	<p>三味線はアジアの旅人？ ゲストティーチャーの演奏を聴こう！</p>

「やぐはやくは」	大正琴	日本の歌を歌おう 大正琴を弾くぞ！	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な日本の歌を歌ったり，大正琴を弾いたりして，日本独特の情緒や雰囲気を感じ取る 大正琴に興味・関心を持ち，親しめる 様々な音楽活動に進んで取り組める 日本の音楽の独特な情緒や雰囲気を感じ取ることができる 各パートや全体の響きに気を付けた合奏をすることができる
	大正琴	大正琴の達人 22 名と一緒に演奏しよう！	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に教えていただきながら伝統楽器に親しみ，そのよさ・素晴らしさ，独特の表現を味わう 音楽活動に対し，意欲的に取り組める 日本音楽にみられる「間」の取り方を工夫することができる 各パートや全体の響きに気を付けた合奏をすることができる
アジアの民族楽器	日本の楽器との 共通点・相違点	日本の楽器と似てる じゃん！	<ul style="list-style-type: none"> アジアの民族楽器の学習を通して，日本の伝統楽器との共通点やそれぞれのよさに気付くことができる アジア諸国の伝統楽器に興味・関心を持ち，親しめる 日本とアジア諸国の伝統楽器を比較し，共通点・相違点を見付け，双方のよさに気付くことができる それぞれの国の民族音楽（楽器）の特徴を感じ取ることができる
まとめ	アジア音楽の まとめ	『ASIA ぶらり旅』 をまとめよう！	<ul style="list-style-type: none"> アジア音楽（発声法・民族楽器）の学習を通して学んだこと・感じたことを発表し合い，理解を深める アジアの文化や伝統を尊重・継承していこうとする意識を持つことができる 日本の音楽・伝統楽器の独特な情緒や雰囲気を感じ取ることができる 民族音楽の味わいや表現の豊かさを感じ取ることができたか